

令和6年度使用教科用図書

調 査 の 観 点

(小学校・義務教育学校【前期課程】用)

【全市共通版】

令和5年5月

大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

教科用図書の調査及び研究にあたっての留意事項

1. 調査の基本的態度

(1) 「大阪市教育振興基本計画」に示された基本理念及び3つの最重要目標に基づいた調査及び研究

基本理念

全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立することをめざします。
あわせて、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざします。

3つの最重要目標

子どもたちの最善の利益のために、教育環境を安全で安心な場とし、学力や体力の向上に効果を上げることは、本市の教育行政及び学校運営にとって、普遍的な目標であるとともに、継続的な課題でもあります。そして、これらの目標達成に向けた改善の取組や成果について、市民や保護者のみなさまに対して説明し理解を求めることは欠くことのできないものです。

したがって、これまでの「安全・安心な教育の推進」と「未来を切り拓く学力・体力の向上」については、引き続き最重要目標として全力で取組を進めます。

また、これら2つの目標を追求する上で、急速に進む社会のデジタル化に対応して学習者用端末の1人1台環境を活用した効果的な教育環境を実現するとともに、喫緊の課題である教職員の働き方改革や、人材確保・育成、変革に柔軟に取り組めるしなやかな組織づくりを推進していくことが極めて重要であることから、「学びを支える教育環境の充実」を加えた3つを「最重要目標」として定めます。

これら3つの目標のための取組を相互に連携させ、教育施策全体の構造化を図りながら推進することにより、基本理念の実現をめざします。

(令和4年3月策定「大阪市教育振興基本計画」より)

(2) 「小学校学習指導要領」等の趣旨・内容を踏まえた調査及び研究

小学校学習指導要領(平成29年3月告示)においては、急激に変化する時代の中で、一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることを求めている。

また、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現(答申)」(令和3年1月26日)においては、学習指導要領において示された資質・能力の育成を着実に進めることが重要であり、そのためにはICTを最大限活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をはかるよう求めている。

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に当たっては、各教科の特質に応じ、地域・学校や児童の実情を踏まえながら、ICTを活用した新たな教材や学習活動も積極的に取り入れつつ、それにより実現される新しい学習活動について、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげていくことが期待されている。

2. 調査会を構成する者の資格要件及び責務

(1) 資格要件は、次のとおりとする。

各調査会において、教科用図書の採択に直接利害を有する者は、調査会を構成する者になることができない。教科用図書の採択に利害関係を有する者とは、特定の教科用図書が採択されることにより直接に利益または損害を受ける者であり、例えば次に掲げる者をいう。

ア 教科書発行者の役員及び従業員並びにこれらの配偶者及び三親等内の親族

イ 顧問、参与、嘱託等いかなる名称によるを問わず、事実上教科書発行者の事業の運営に重要な影響力を有している者

ウ 教科書及び教師用指導書の著作・編集者(事実上、著作・編集に参加し、又は協力した者を含む)

エ ウの著作・編集者が団体である場合は、当該団体の役員及びこれに準ずる者

オ 教科書の供給の事業を行う者及びこれに準ずる者

※教科書採択に直接の利害関係を有しないまでも、教科書発行者から個別に協力ないしは意見聴取の依頼を受け、著作・編集活動に一定の関与を行うなど、特定の教科書発行者と関係を有する者を、調査員等として選任することは適当ではない。

(平成28年6月20日文科初第432号「文部科学省初等中等教育局長通知」より)

(2) 責務は、次のとおりとする。

ア 教科用図書の選定に関する事業内容を理解して適正かつ公正な調査及び研究を行い、調査の経過及び結果を教科用図書選定委員会(地区部会)に報告しなければならない。

イ 職務上知りえた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

ウ 調査会を構成する者としての良識と自覚の上に立って、公正確保に留意し、いかなる疑惑をも招くことのないようにしなければならない。

調査選定基準

教科	国語	種目	国語
----	----	----	----

	調査研究項目《設定の理由》	調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。	①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補足的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。	①日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるよう配慮されているか。 ②日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うよう配慮されているか。 ③言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養うよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。	①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。
4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。	①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。

調査選定基準

教科	国語	種目	書写
	調査研究項目《設定の理由》		調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。		①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。		①硬筆を使用する書写の学習の充実を図ることができるよう配慮がなされているか。 ②毛筆を使用する書写の指導において、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう配慮がなされているか。 ③文字を正しく整えて書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育むよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。		①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。
4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。		①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。

調査選定基準

教科	社会	種目	社会
	調査研究項目《設定の理由》		調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。		①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。		①地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができるよう配慮されているか。 ②社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養うよう配慮されているか。 ③社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養うよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。		①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。
4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。		①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。

調査選定基準

教科	社会	種目	地図
	調査研究項目《設定の理由》		調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。		①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。		①地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができるよう配慮されているか。 ②社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養うよう配慮されているか。 ③社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養うよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。		①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。
4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。		①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。

調査選定基準

教科	算数	種目	算数
	調査研究項目《設定の理由》		調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。		①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。		①数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けることができるよう配慮されているか。 ②日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養うよう配慮されているか。 ③数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養うよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。		①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。
4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。		①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。

調査選定基準

教科	理科	種目	理科
	調査研究項目《設定の理由》		調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。		①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。		①自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができるよう配慮されているか。 ②観察、実験などを行い、問題解決の力を養うよう配慮されているか。 ③自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。		①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。
4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。		①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。

調査選定基準

教科	生活	種目	生活
----	----	----	----

	調査研究項目《設定の理由》	調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。	①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。	①活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができるよう配慮されているか。 ②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう配慮されているか。 ③身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養うよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。	①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。
4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。	①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。

調査選定基準

教科	音楽	種目	音楽
----	----	----	----

	調査研究項目《設定の理由》	調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。	①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。	①曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができるよう配慮されているか。 ②音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるよう配慮されているか。 ③音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことができるよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。	①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。

4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。	①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。
---	--	--

調査選定基準

教科	図画工作	種目	図画工作
----	------	----	------

	調査研究項目《設定の理由》	調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。	①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。	①対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるよう配慮されているか。 ②造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるよう配慮されているか。 ③つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培うことができるよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。	①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。

4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。	①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。
---	--	--

調査選定基準

教科	家庭	種目	家庭
	調査研究項目《設定の理由》		調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。		①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。		①家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができるよう配慮されているか。 ②日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養うよう配慮されているか。 ③家庭生活を大切にすることの心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。		①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。
4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。		①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。

調査選定基準

教科	体育	種目	保健
----	----	----	----

	調査研究項目《設定の理由》	調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。	①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。	①その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けることができるよう配慮されているか。 ②運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができるよう配慮されているか。 ③運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養うよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。	①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。

4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。	①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。
---	--	--

調査選定基準

教科	外国語	種目	英語
	調査研究項目《設定の理由》		調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。		①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。		①外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることができるよう配慮されているか。 ②コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養うよう配慮されているか。 ③外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。		①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。
4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。		①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。

調査選定基準

教科	特別の教科	道徳	種目	特別の教科	道徳
----	-------	----	----	-------	----

	調査研究項目《設定の理由》	調査研究の観点
1	安全・安心な教育の推進 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「全ての子どもが、明るく落ち着いた教育環境の中で生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら健全に成長できること」や、「子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図り、共に学び、共に育ち、共に生きる教育や多文化共生教育を推進し、豊かな心の育成をすること」に資する教科用図書を選定するため。	①自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているか。 ②発達の段階や個々の習熟の程度に応じて、発展的な学習や補充的な学習等に取り組みやすいよう配慮されているか。 ③多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりにむけた態度等の育成が図られるよう配慮されているか。
2	未来を切り拓く学力・体力の向上 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「児童の発達段階を考慮しながら、読解力・言語能力、数理能力、論理的思考力、情報活用能力、課題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力や現代的諸課題に対応して求められる資質・能力等を育成すること」や、「生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、基礎的な体力を養うとともに、健康を管理する能力を形成すること」に資する教科用図書を選定するため。	①児童の発達の段階に即し、道徳的価値の意義及びその大切さを理解することができるよう配慮されているか。 ②物事を一面的に捉えるのではなく、児童自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解し、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されているか。 ③道徳的価値の理解を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う考え方や感じ方などを確かに想起したりすることができるようにするなど、自己の生き方についての考えを深めることができるよう配慮されているか。 ④言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。
3	学びを支える教育環境の充実 《設定の理由》 「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標に即して、「加速するデジタル化を踏まえ、授業をはじめとする学びや生活の中でのICTの効果的な活用を図ること」や、「幼児教育から義務教育までの各段階に応じた切れ目のない支援を行うため、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進していくこと」に資する教科用図書を選定するため。	①コンピューターや情報通信ネットワーク等の適切な活用を図ることができるよう配慮されているか。 ②各種の統計資料や新聞、視聴覚教材等を適切に活用することができるよう配慮されているか。 ③各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、体系的・継続的に実施できるよう配慮されているか。 ④各教科等の特質に応じて、家庭や地域社会と連携することができるよう配慮されているか。 ⑤幼児教育及び中学校教育等との円滑な接続が図られるよう配慮されているか。

4	構成上の工夫 《設定の理由》 上記のほか、読みやすさ、使いやすさ、分かりやすさなどの児童に対する配慮や工夫がなされている教科用図書を選定するため。	①知識と生活との結び付きや教科等横断的な視点が重視されているか。 ②引用（URL・2次元コード等を含む）、教材、写真、挿絵等が適切に配置されているか。 ③文字の大きさ・フォント・行間等が適切であり、すべての児童にとって学習しやすいユニバーサルデザインの視点に立ったものになっているか。
---	--	--